

第42回 那須IVR研究会

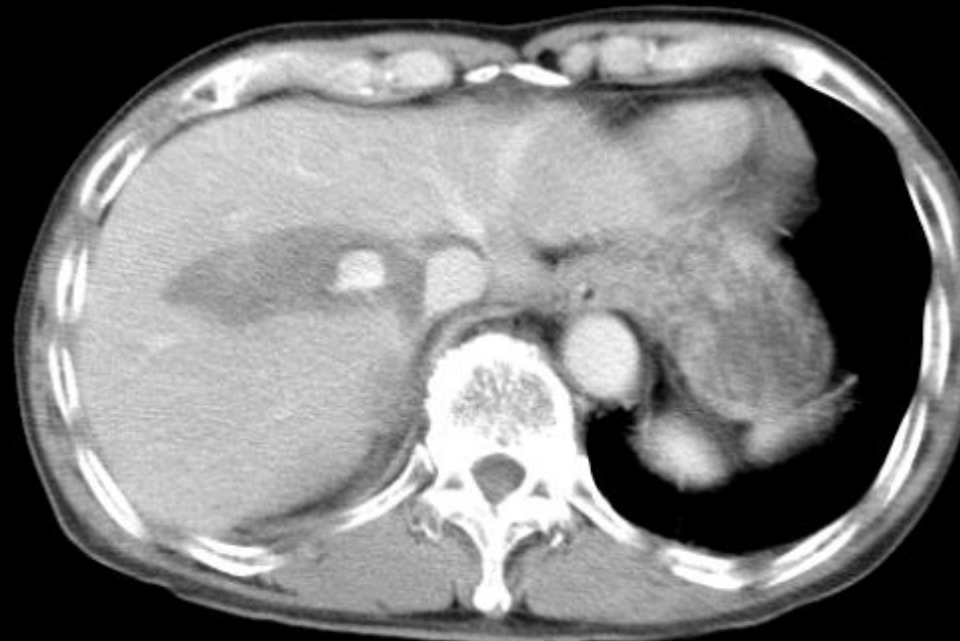
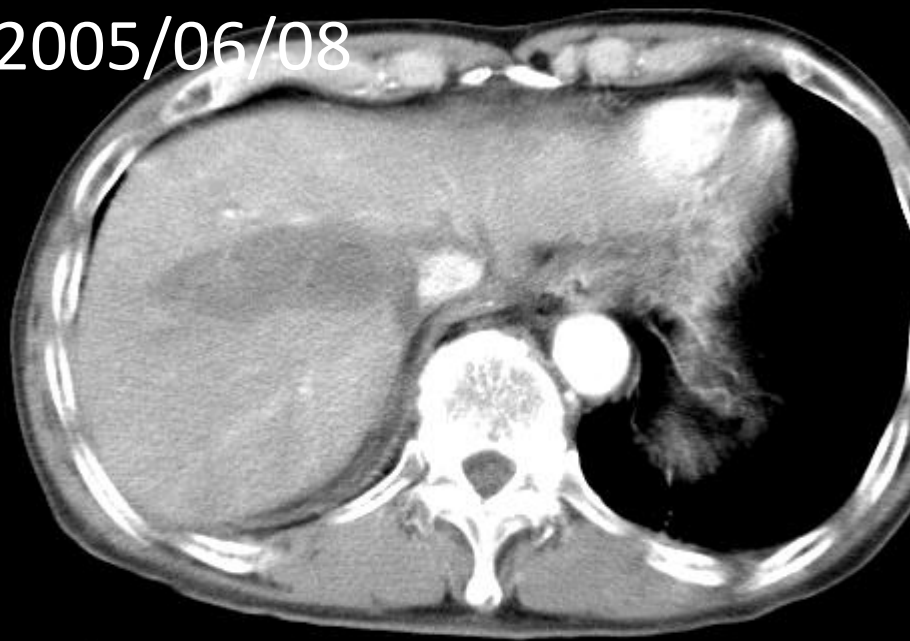
外傷性肝損傷TAE後 肝内胆管結石

那須赤十字病院 放射線科
三浦剛史 水沼仁孝

78歳 男性

- 2005/06/08 交通外傷
肝損傷、副腎損傷、縦隔気腫
外傷性肝損傷に対しTAE施行。

2005/06/08



動脈相

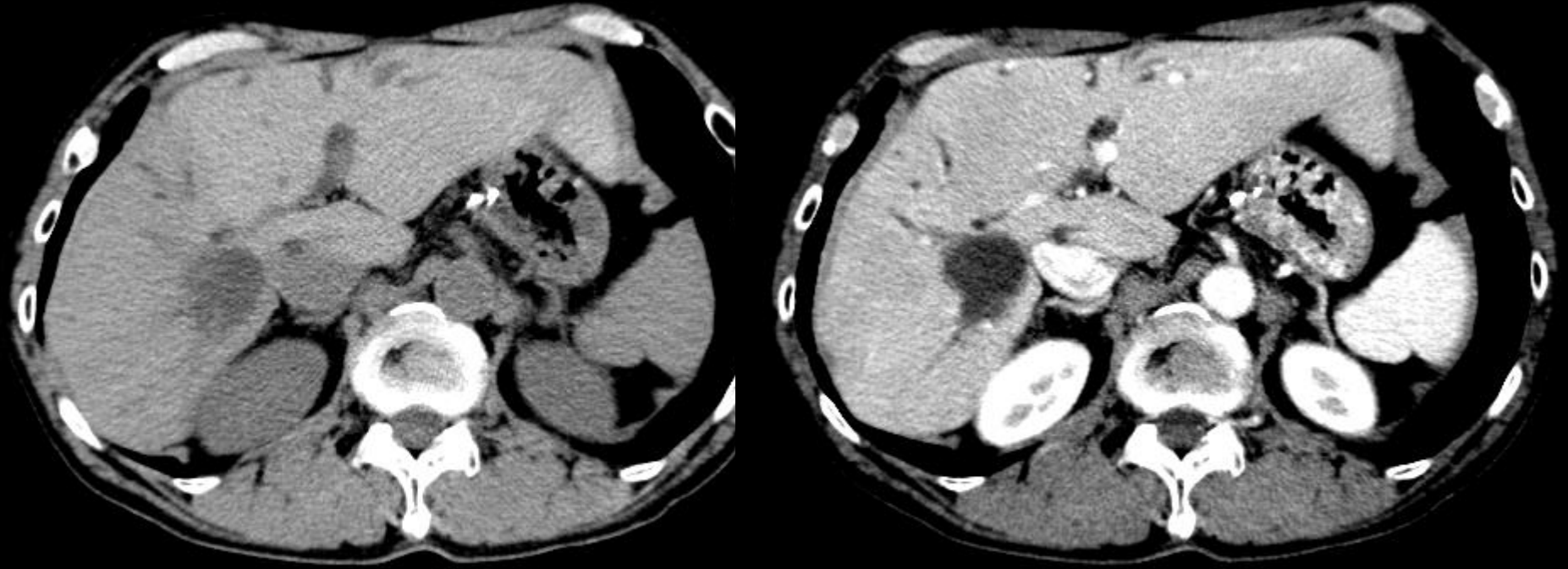


平衡相



肝右葉尾側に実質濃染みられず、血管外漏出像(+)
⇒ 右肝動脈を塞栓

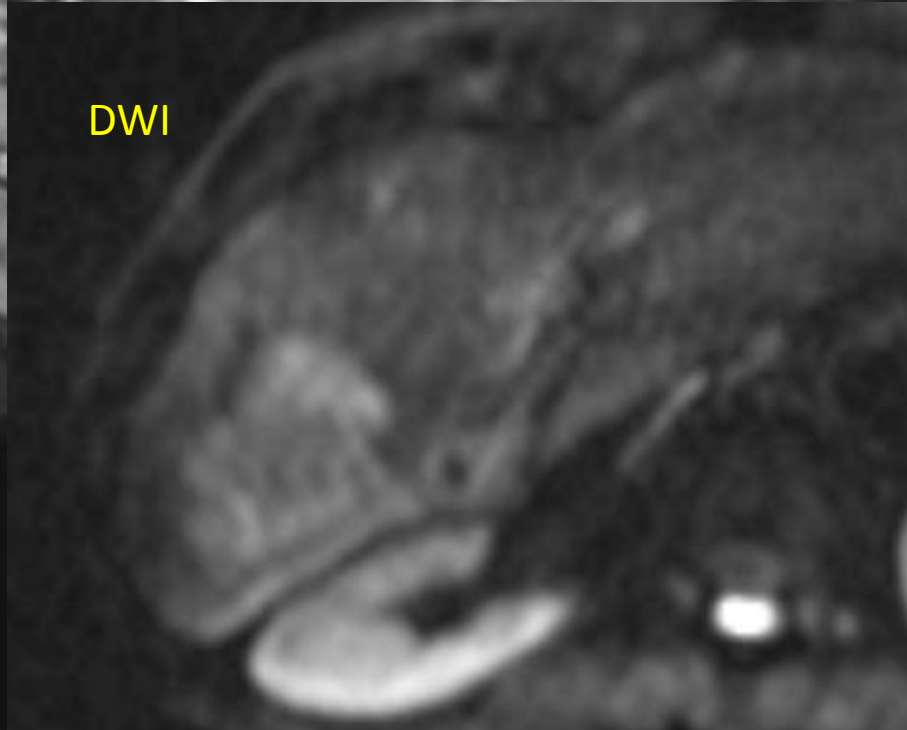
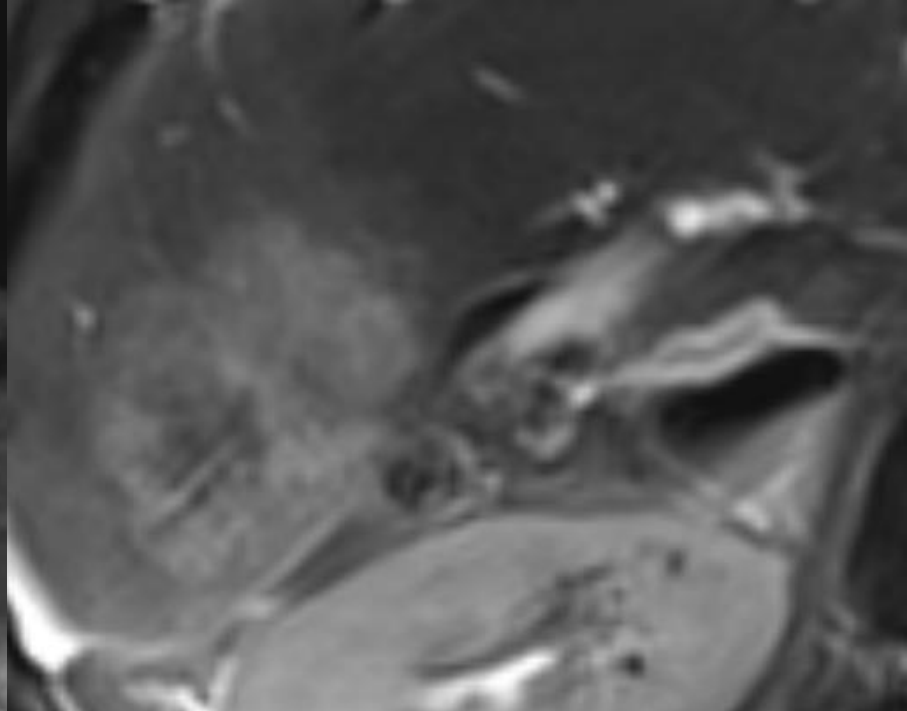
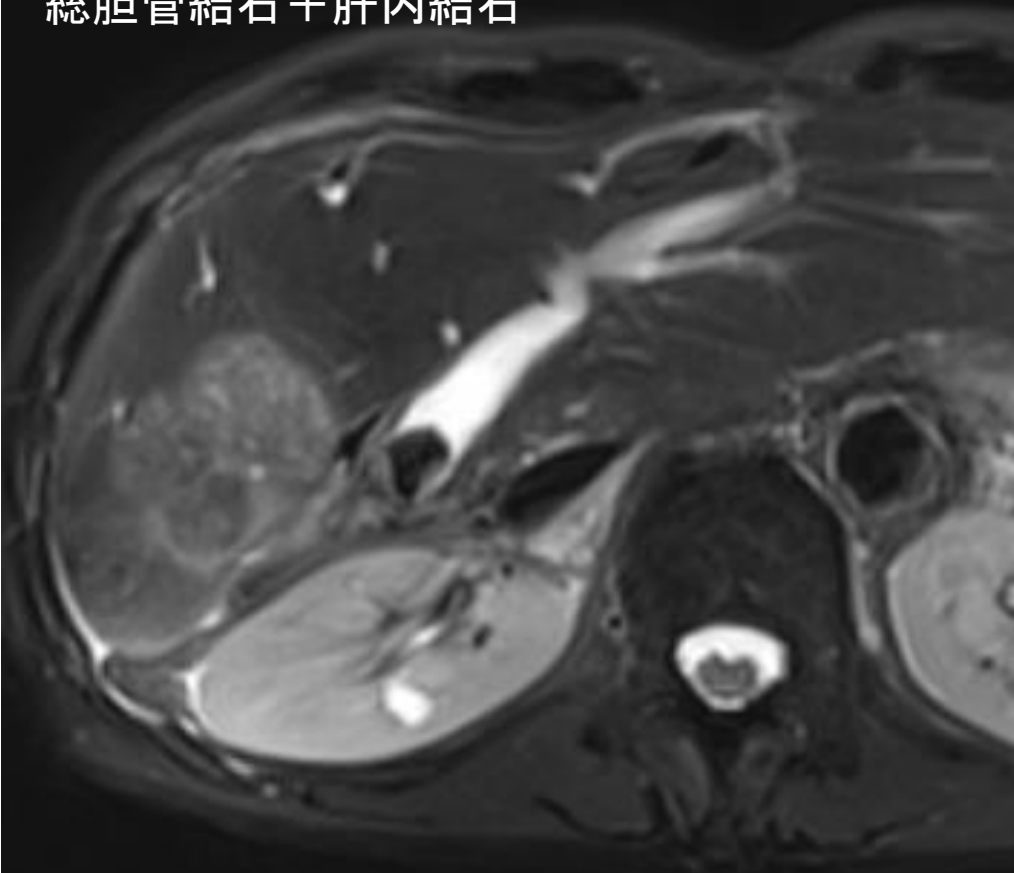
1年後、2006/05/09



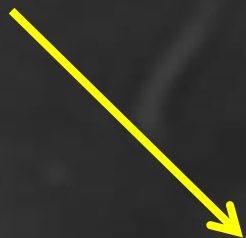
肝右葉後区域に胆汁腫、後区域は萎縮

10年後 2016/09/21

肝機能障害にて紹介
S6に腫瘤、CCC? 膿瘍?
総胆管結石+肝内結石



右肝内胆管

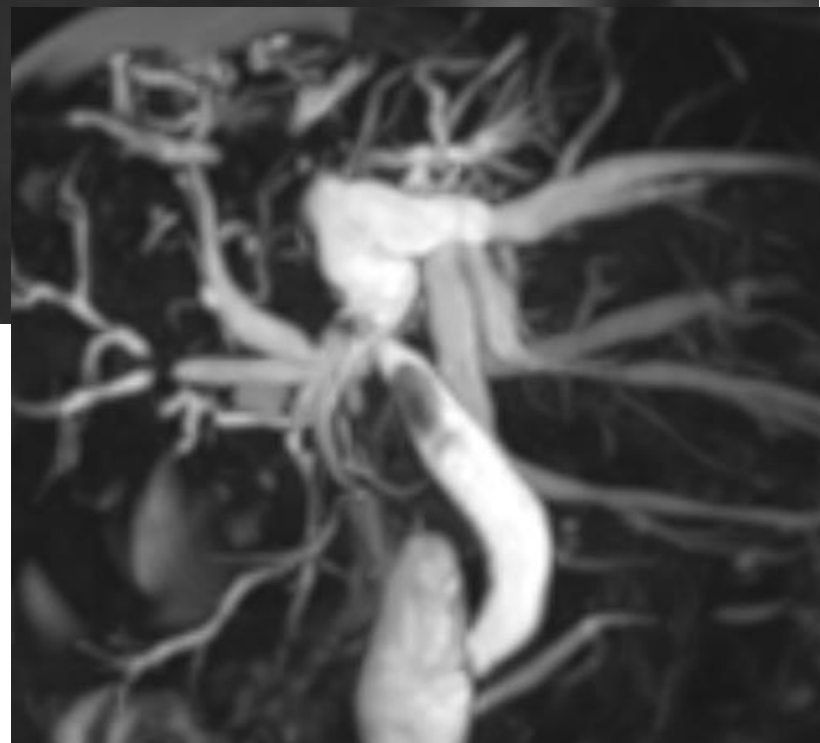


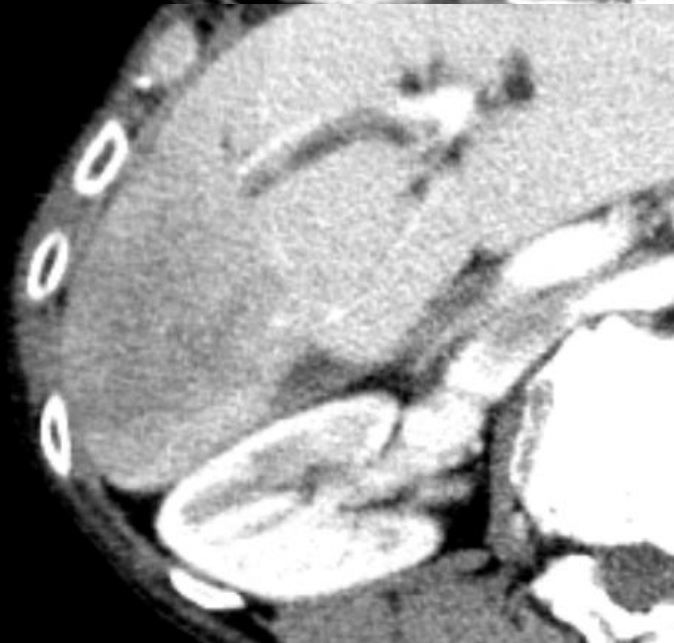
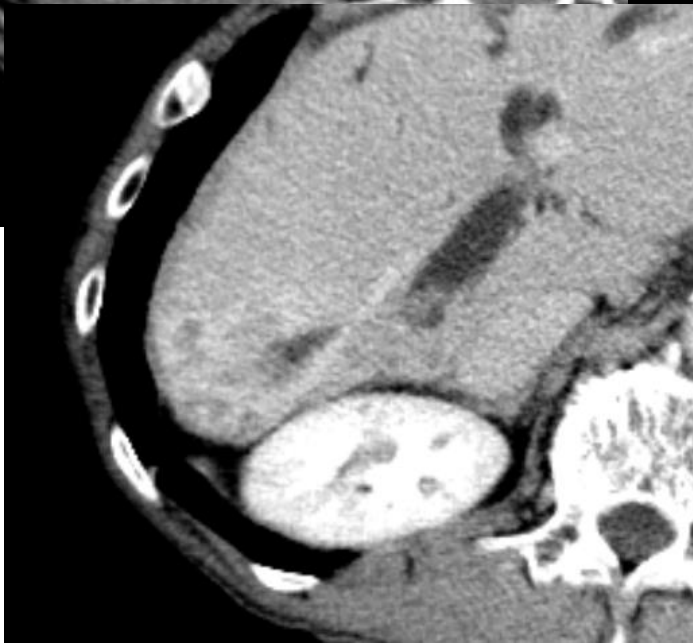
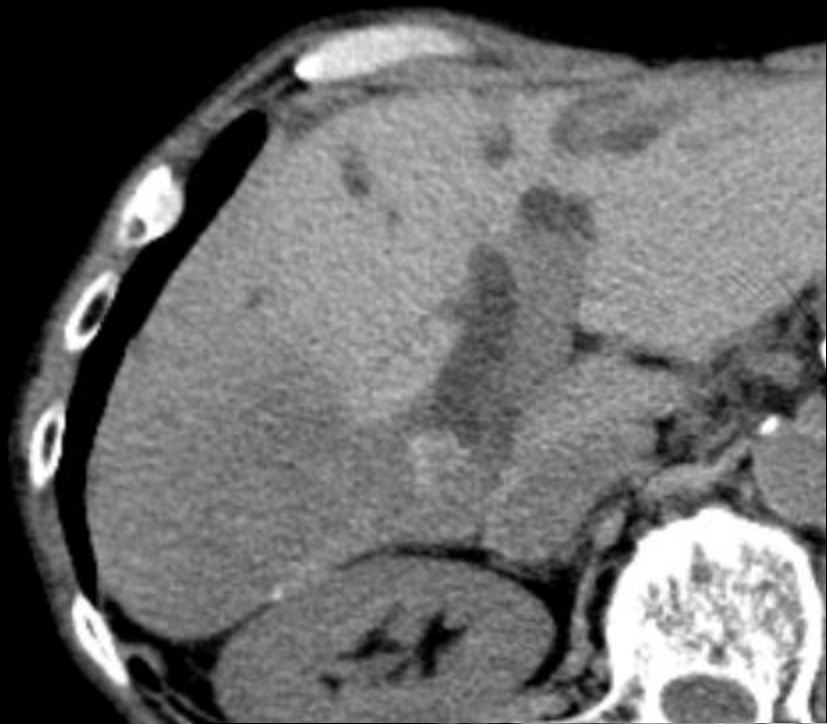
肝門部胆管



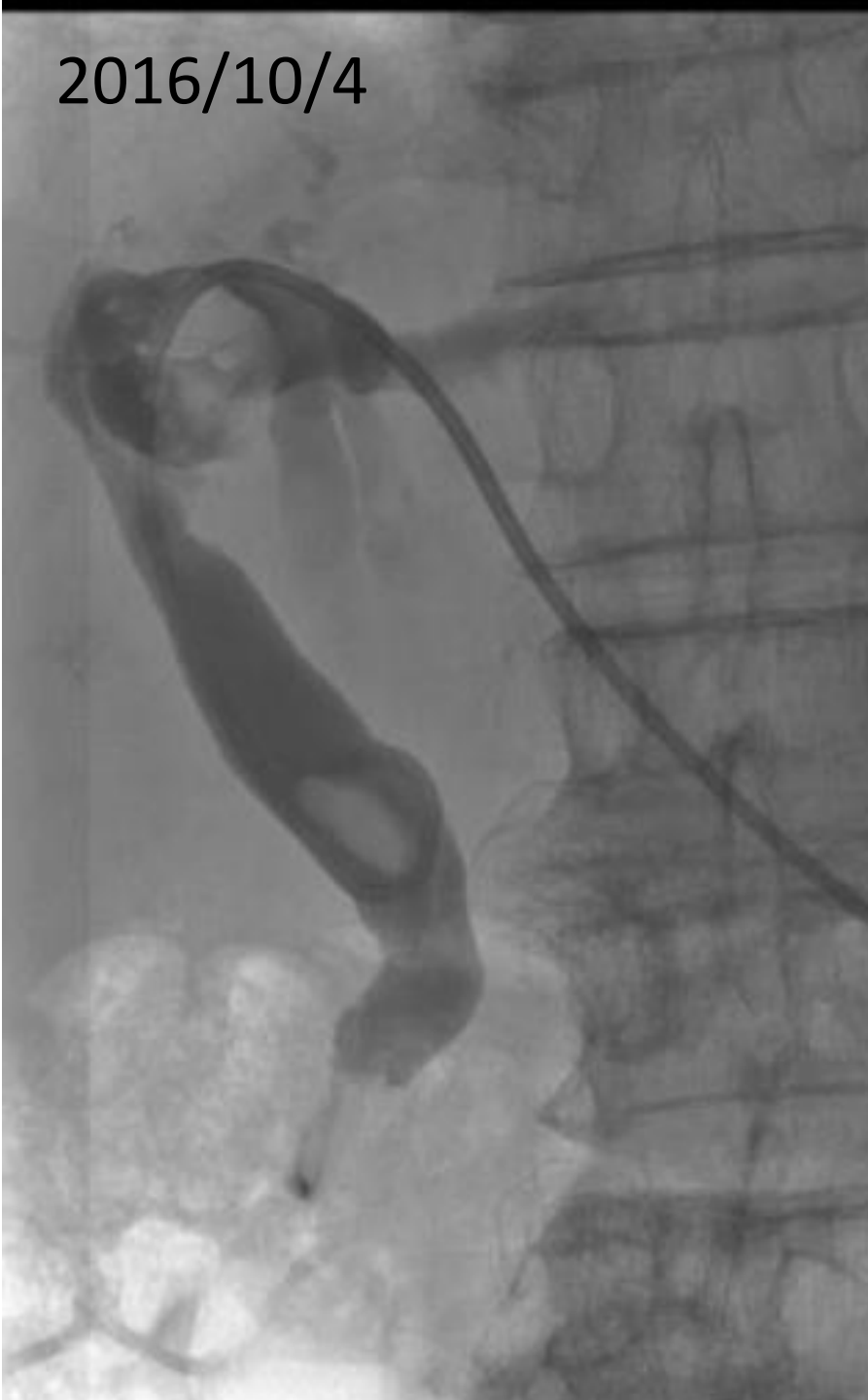
AST 21 IU/l
ALT 18 IU/l
ALP 348 IU/l
T-Bil 0.5mg/dl

CEA 5.2 ng/dl
CA19-9 340 ng/ml
WBC 4200
CRP 5.34 mg/dl





2016/10/4



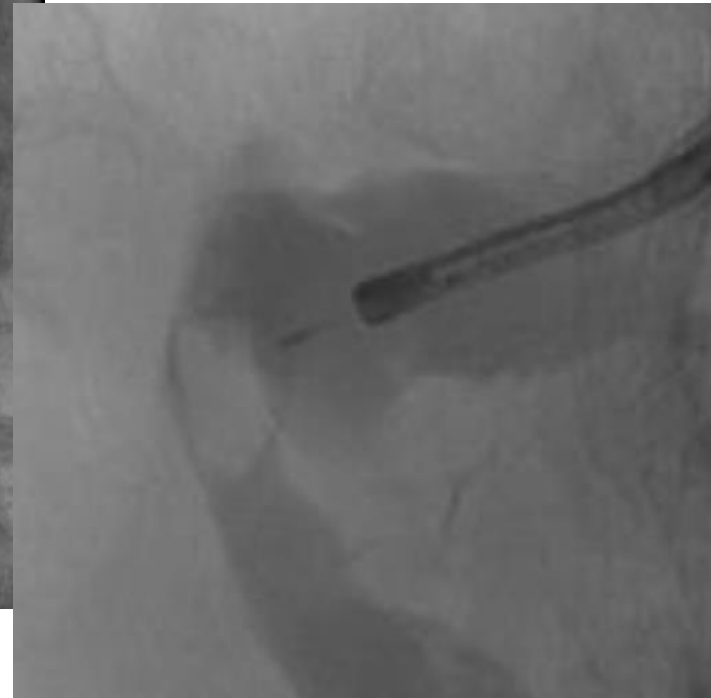
心窩部よりB3向かって穿刺
PTCD施行

2016/10/11

10mm径のバルーンカテーテルにて Vater 乳頭を拡張

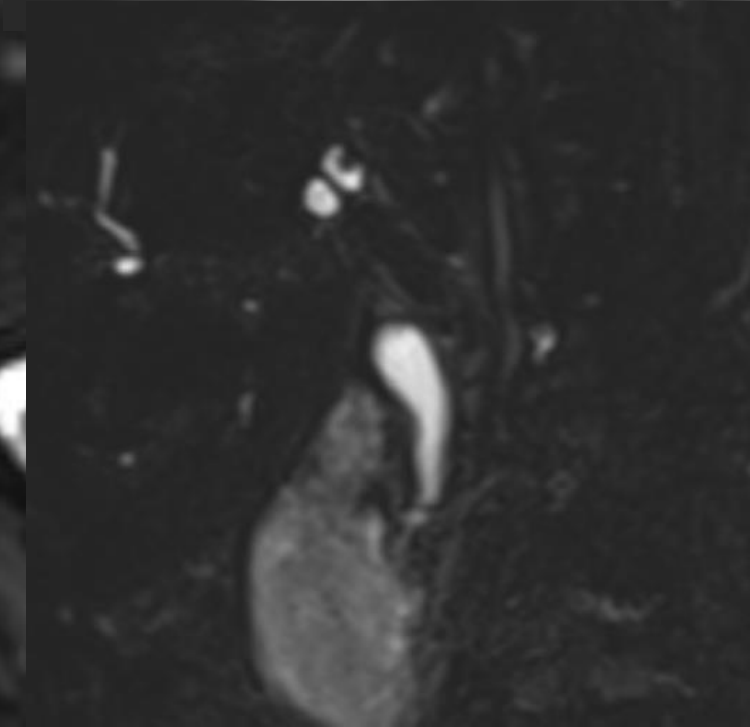
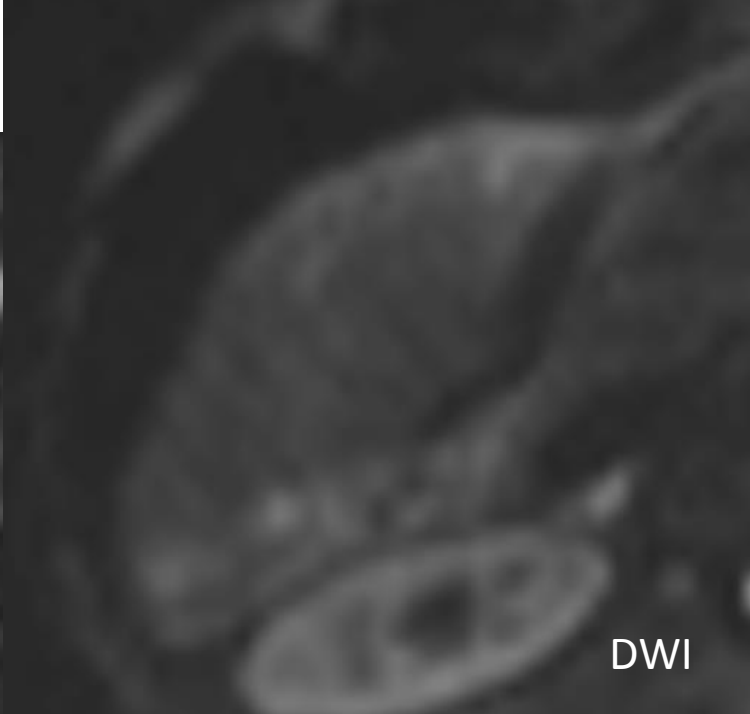
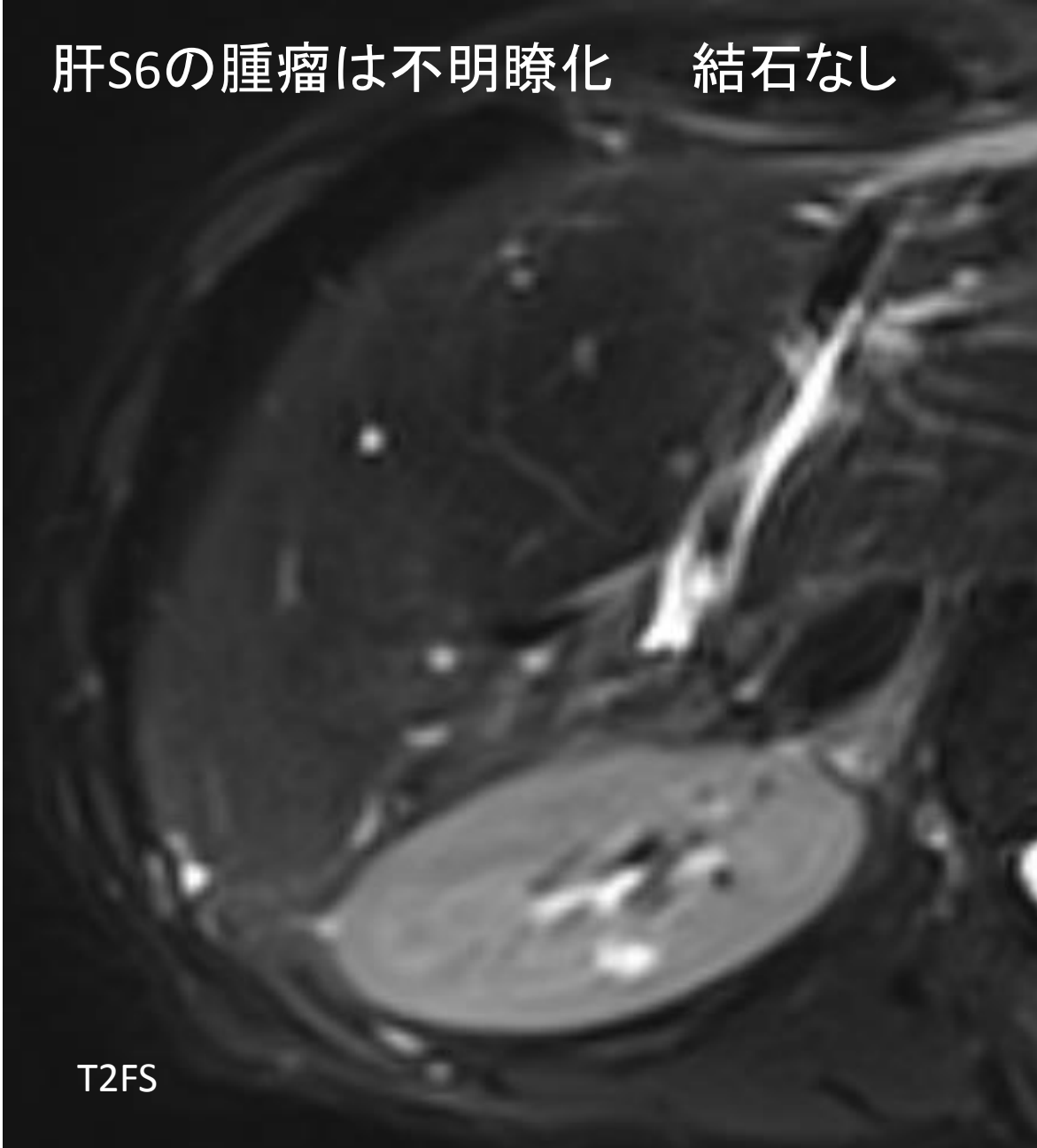


胆道鏡下に電気制圧衝撃波



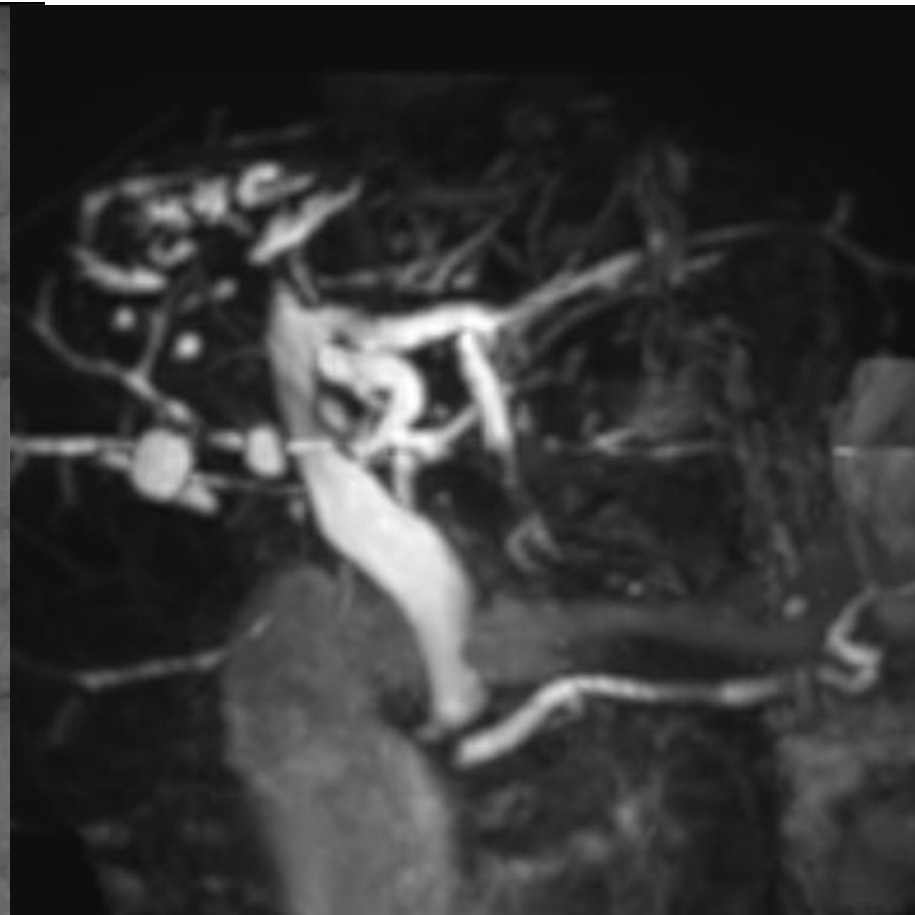
2016/10/18

肝S6の腫瘍は不明瞭化 結石なし



2016/10/20

総胆管内に遺残結石なし
右肝管は肝門部背側で高度屈曲



AST 27 IU/l

ALT 15 IU/l

ALP 377 IU/l

T-Bil 1.0mg/dl

CEA 5.4 ng/dl

CA19-9 119 ng/ml

WBC 6400

CRP 1.22 mg/dl

まとめ

- 外傷性肝損傷に対するTAE後。
- 肝右葉後区域は萎縮し、総胆管や肝内胆管の狭窄により総胆管結石、肝内胆管結石が生じ、肝膿瘍を併発した。
- 経皮経肝アプローチで胆道鏡下に結石破碎を行い、肝膿瘍も改善した。